

令和4年度第3回小浜市地域公共交通会議 議事録

1 日 時 令和5年3月24日（金） 13:30～15:20

2 場 所 小浜市働く婦人の家3階大会議室

3 出席者 <<委員>>19名（代理出席2名）、欠席7名

川本義海会長、野村徳夫副会長、堂前存守委員、今村治義委員、岩崎育巳委員、北林荘八委員（代理 西日本旅客鉄道(株)金沢支社 敦賀地域鉄道部 阪森様）、森健次郎委員、治部淳委員、森本幸夫委員、五十嵐重晃委員、田中博委員、福井亨委員、藤田靖人委員、清水雅彦委員、乗替保委員、宮下宏幸委員、小林博之委員、堤宗和委員（代理 福井県交通まちづくり課 小竹原様）、東野克拓委員

<<事務局>>

小浜市新幹線・交通まちづくり課

4 議事次第

(1) 開会

(2) 議事

(協議事項①)

デマンド交通実証実験の結果について

(協議事項②)

市街地循環バス実証実験の結果について

(3) その他

令和5年度公共交通機関利用促進事業について

(4) 閉会

5 議事

(1) 開会

【会長挨拶】

本日は、昨年秋に実施した2つの公共交通の実証実験が終わったということで、その結果の報告と協議をしていただくこととなります。県内他自治体でもデマンド型交通を導入している事例もありますが、持続可能な公共交通を考えたときに、デマンドを含む多様な手段があり、それらを組み合わせることが大切だと思います。ひとつの手段に決め打ちするのではなく、色々な方法を考えて、今後どのように進めるか等ご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(協議事項①)

デマンド交通実証実験について

【事務局】資料に沿って説明

【会長】

説明ありがとうございました。デマンド交通の実証実験の報告について、何かご質問・ご意見ありましたらお願いいたします。

【委員】

1つ目の質問は、資料P 2 4の有料時の利用意向のクロス集計についてです。あいあいバス利用経験者とあいあいバス非利用者の結果がありますが、それぞれ回答者数は何人でしょうか。

2つ目の質問は、資料P 3 6の一人あたりの輸送コストについてです。あいあいバスの運賃収入は考慮されていますか？

3つ目の質問は、利用者アンケートで、有料時の1回あたりの希望運賃を確認していますが、その結果を考慮した一人あたりの輸送コストは算出されていますか？

【事務局】

1つ目のご質問ですが、あいあいバス利用経験者は月1回以上利用する方を指し、43人の回答となります。あいあいバス非利用者は、あいあいバスを年に数日以下・または乗ったことがない方を指し、151人の回答となります。

2つ目のご質問ですが、今回は運賃収入を考慮せず、運行経費を乗車人数で割り、一人当たりの輸送コストを算出しています。

3つ目のご質問ですが、アンケート結果から、運賃設定を200円とした場合、運賃収入は「200円×750人=150,000円」となりますが、運賃収入を差し引いた輸送コストは今回算出しておりません。

【委員】

1つ目の質問は、資料P 1 7でデマンド交通を利用した目的が記載されていますが、ヘビーユーザーのみの利用目的のクロス集計が分かれば教えてください。

2つ目の質問は、資料P 3 5の交通事業者との意見交換会に記載されている、タクシーの営業時間のことについて再度ご説明をお願いしたいです。

3つ目の質問は、実証実験を経て、あいあいバスの利用者数に変化があるのか分かれば教えてください。

【事務局】

1つ目のご質問ですが、デマンド交通の利用目的について、ヘビーユーザーのクロス集計は現時点ではできておらず、全体の集計結果のみとなります。全体の集計結果では、通院、買い物の利用が多くなっています。

2つ目のご質問ですが、タクシーの営業は、約3年前から平日は深夜12時まで、金曜・土曜は深夜2時までになっているということでございます。

3つ目のご質問ですが、あいあいバスの利用者数の推移をみますと、実証実験前後で大きな利用者数の変化はないと考えています。

【委員】

実証実験を経て、今後の見通しについてどのように考えているのか教えてください。

【事務局】

今回、デマンド交通の実証実験を実施しましたが、これは導入ありきで実施したものではございません。今回の実証実験のデータとその検証を元に、来年度は福井大学さんに協力いただき、交通事業者の課題を聞き取りするなど、大学・事業者・行政の産官学で検証を進めていきたいと考えています。

令和5年度に検証を進め、方向性を示し、令和6年度以降に新しい交通システムを導入できればと考えています。その際には、公共交通会議を開催し、検証結果の報告や方向性をお示しし、ご協議いただきたいと考えています。

【会長】

次年度のスケジュールとしては現時点でどのように考えていますか。

【事務局】

検証結果を元に、他の交通手段も検討したいと考えています。また、その際には導入を前提とした実証実験も必要だと考えていますが、予算の関係もございますので、現時点で次の実証実験のことを申し上げるのは難しいところです。

ただ、来年度の上半期にはある程度の方向性をつけることができればと思っています。そのために、地域の方と協議・意見交換する場も設けたいと考えています。

【会長】

ありがとうございます。来年度に入りましたら大学側も入って協議を進めたいと考えておりますので、他にも色々なご意見をいただきたいと思います。

【委員】

実証実験結果を見ると、60歳以上の方に多く利用されています。デマンド交通をした場合に、運賃設定をどうするか、また行政負担はどの程度できるのかが重要だと考えます。住民が納得する利便性のある計画を進めていただきたいと思います。よろしくお願いします。

【事務局】

ありがとうございます。持続可能な公共交通が非常に重要になると考えています。その面ではコストは大きな比重があると思います。また他にも、導入による多面的な効果も検証が必要だと考えています。色々な面で検証し、コミバス再編の実現に向けて進めていきたいと考えています。

【委員】

他市町でも、デマンド交通の利用結果を、このように検証・データ取りをされているか分かれば教えてください。

【事務局】

デマンド交通を導入している他自治体も、それぞれデータ取りをされていると思いますし、またそのデータも各市町のHPに掲載されていることでもありますので、それらを参考にしています。

【委員】

2024年春に北陸新幹線敦賀開業が控えている中、観光客の交通手段も変わってくると思います。今後実証実験をした場合には、それらの効果等を含めて検討していただけると良いと思います。

【事務局】

人口減少の中、観光利用も非常に重要だと考えています。ただ、まずは日常利用・市民生活の利便性向上が大切だと考えています。市民の利便性が向上する交通体系ができれば、観光の方にとっても利便性が向上されるのではないかと考えています。また、観光客の方に特化した支援の充実については、別の形・メニューで展開することも必要ではないかと思っています。

【委員】

例えば、近隣自治体から、小浜病院に通院する方などもいらっしゃると思いますので、柔軟に考えていただきたいなとも思います。

【委員】

今回の実証実験の利用をしました。その感想としては、行きは予約がとりやすいですが、病院の終わる時間が分からない中で帰りの便を予約するのが難しいと思いました。それは何回か利用して経験を踏まないと、利用回数は増えないのかなと思いました。

今回の実証実験は平日のみでしたが、運行日時なども今後検証していただければと思いました。

【委員】

私の住む地区も高齢化が進んでいます。その中で通院などの問題も今後大きくなると思います。帰る時間も心配なく帰れるような交通手段にしていただけると有難いと思います。

【委員】

今回のデマンド交通実証実験の運行を担当しました。今回の運行については、概ね順調にできたと思います。今回は2台の車両で、1台は9時～13時まで、もう1台は9時～15時までの運行でした。そのため、13時以降は1台の車両で運行するため、遠方の予約が入ると他の予約が取れないということも何回が発生しました。その辺が課題になると思いました。

また、交通業界の話をしみますと、昨今の人手不足があります。「2024年問題」と言われる労働時間の短縮規制も控えており、ますます人手不足になることが懸念されます。現時点でタクシー運転手も高齢化が進んでいます。

現在、タクシー事業は赤字で、それを他のバス事業で補てんしている状況です。仮にデマンド交通が本格運用された場合には、通常のタクシー事業の存続問題を懸念しています。タクシー事業がなくなると、デマンド交通でカバーできない個人需要に答えられなくなります。そのことも、委員の皆様には考えていただき慎重に協議いただきたいと思っています。

【委員】

デマンド交通が導入され、タクシー事業がなくなると、夜の移動需要等に対応する手段がなくなってしまいます。また、デマンド交通を導入するとコストもかかります。小浜市では朝夕の学生通学の移動に対応する必要がある、大きなバスが必要になっています。委員の皆様には、デマンド交通ありきではなく、大きな視点で考えていただきたいと思っています。

【会長】

資源がある中で持続可能な交通体系を提供することをしっかり考える必要があると思います。また、他自治体の事例なども参考にしながら考える必要があると思います。皆さん貴重なご意見ありがとうございました。

(協議事項②)

市街地循環バス実証実験について

【事務局】 資料に沿って説明

【会長】

説明ありがとうございました。市街地循環バスの実証実験の報告について、何かご質問・ご意見ありましたらお願いいたします。

【委員】

循環バスの運行回数やコスト面など十分に検討する必要があると感じました。

【委員】

運行事業者さんにお聞きします。1つ目の質問は、資料P 2 5 ②の運行ルートについて、一部の運行ルートで時間に余裕がなく数分遅れることがあったと記載されていますが、運行時間を決めるにあたり試走をされたと思いますが、遅れた原因など分かりましたら教えてください。

2つ目の質問は、今回の実証実験は1日7便の運行でしたが、仮に便数を減らした場合にコストは変わるのか教えていただきたいと思います。

【委員】

1つ目のご質問ですが、実証実験前に試走はしました。しかし、信号が続く道では、定時より遅れることがありました。

2つ目のご質問ですが、今回の運行時刻表はタイトな時間だったので、7便を5便にした場合には、運行間隔を空けることが考えられます。その場合、総運行時間が変わらなければ、コストも変わらないことになると考えています。

【委員】

資料P 1 1で循環バスによる外出頻度の変化のアンケートでは、「増えた」という回答が6割を占めています。今回の実証実験では、市街地の回遊性を高められるかという点が実証実験の目的としてあったと思いますが、今回の結果を踏まえ、今後より一層検討していただきたいと思います。

【事務局】

今回市街地循環バスの実証実験を実施した経緯として、昨年に行った公共交通に関するアンケートで、コミバスで小浜駅まで出てきたあとに買い物等に行く移動手段がないという意見や、市街地にお住まいの方についても、市街地を回る循環バスがあると良いという意見があり、実証実験を実施したものでございます。いただいたご意見を参考に、今後の実現の可能性について検討したいと思っております。

【会長】

資料P 8の利用者居住地区やP 1 1の乗り継ぎの結果からわかるように、今回の実証実験の利用者は、市街地がメインで、それ以外の利用者が少なかったという結果が出ています。

市街地の人からは一定の需要があったと考えられますが、相関的に利用されるかは、今回の結果のみで判断するのは難しいと思いますので、この点を検証するというのが今後の課題になると思います。また、料金も関係すると思います。今回は無料で実証実験を行いました。有料になった場合にどの程度の人が利用されるのか、というのも考える必要があると思います。

ほかの検討課題としては、運行ルートとなる商業店舗の方に協力をいただくことも考えられると思います。待合環境（ベンチ）の整備や、例えば協賛していただくなど、収入の確保についても考える必要があると思います。現在は、事業者と利用者だけの話になっているので、もっと広く考えて、市全体としてどうしていくのか検討する必要があると思います。

【委員】

実証実験の結果から、病院だけでなく買い物利用もあったことから、店舗側に、停留所へのベンチ設置や屋根付きの場所を提供してもらうなど、協力をお願いすることも考えられると思います。

料金に関しても、サブスクの設定など利用者にとってメリットがでる仕組みも検討できると思います。また、公共交通だから安くしなければならないというより、個人負担はあるけれど、利便性の高い交通手段であれば使ってもらえると思うので、その点も検討できると思います。

【会長】

今回の実証実験では、これまでコミバスを利用していなかった人が公共交通を利用するきっかけになったと思います。今回のアンケート結果だけでなく、実際に利用者の声を聞く場を設けることも次年度は必要だと思えます。

皆さん、たくさんのご意見をありがとうございます。次年度においても、公共交通会議にて協議の場を設けることになると思えますので、引き続きよろしく願いいたします。

（その他）

令和5年度公共交通機関利用促進事業について、事務局から資料に沿って説明。

（4）閉会

【事務局】

会長、会議の議事進行ありがとうございました。

また、委員の皆様には、慎重審議をいただきありがとうございました。

それではこれで、令和4年度第3回小浜市地域公共交通会議を終わります。ありがとうございました。

以上